

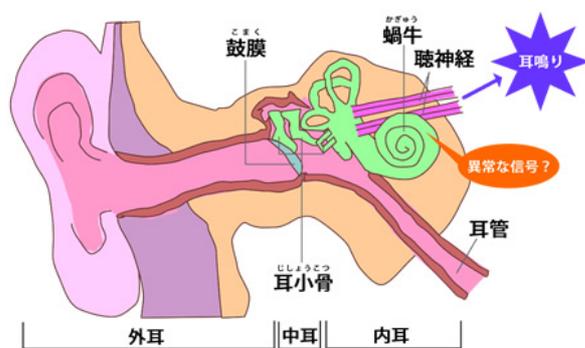


梅雨らしい天候が続いています。
 6月20日(日)埼玉研究会の定例会にお邪魔しました。
 午後、力不足ながら講義をさせていただきましたが
 午前中は「皇帝内経」という昔の書物を勉強しました。
 一年には春夏秋冬があるが、一日の中でも同じように季節があるといえます。
 夕方は秋。赤ちゃんがぐずり出すのも夕方に多いのはたそがれ時が寂しいのかもしれませんが。
 一日の疲れも出るこの時間帯。早めに帰宅してゆっくりくつろげるといいですね。



【五官病について】

五官とは、首から上にある「目、鼻、耳、口腔、咽喉」の感覚器のことをいいます。
 毎日お世話になっている器官ですが、年齢やストレスなどで影響を受けやすいデリケートな部分です。
 耳鳴りは中耳炎や鼻炎、蓄膿症などの病気が原因でも起こりますので元の病気を治すと、耳鳴りも無くなる場合があります。
 めまいや吐き気が伴うときには、メニエール病も考えられます。



(((耳鳴り)))

実

- ★ 突然起こる
- ★ 病因物質によって起こる
- ★ 音が大きい
- ★ 症状が激しい
- ★ 若い方に多い

虚

- ★ 徐々に始まる
- ★ 基本物質の不足による
- ★ かすかな音が断続的に続く
- ★ 中高年の方に多い



突然のストレスや過労によって、突発性難聴になったり睡眠不足や二日酔い、加齢でも耳鳴りや難聴が出ますのでなかなか原因が特定できません。
 原因はいろいろですが、内耳のリンパ液の濁りや有毛細胞の倒れや脱落という現象が起こることで生じます。
 すぐに治るだろうと思っている間にだんだん音も大きくなってきますので気になって仕方がありません。
 長期間のストレスや疲れが溜まり、目も充血しやすくイライラする、眠れないなどの症状には「逍遙丸」「瀉下補腎丸」が良いです。

慢性的な耳鳴りで疲れやすく、自律神経がバランスを崩しているような場合は「シベリア人参」「衛益顆粒」「心脾顆粒」「酸棗仁湯」「ミンハオ」などから体質に合ったものを選びます。

低い音が続き、聴力も低下し頭のふらつきやのぼせ、不眠不安があり、腰がだるいといった症状には、「耳鳴丸」「杞菊地黄丸」「二至丹」で「腎」の力を補うとよいでしょう。

いずれの場合もリンパの濁りをきれいにするには活血することが必要ですから「冠元顆粒」「水快宝」「血府逐瘀丸」などを併用します。

若くてもイヤホンなどで常習的に音楽を聴いているひとは、耳鳴り、難聴が出やすいので将来のためにも注意することをおすすめします。お気をつけくださいね。